

平成27年 2月 定例会（第318回） 荻田議員

◆二十五番（荻田義雄）（登壇）議長のお許しをいただきまして、自由民主党改革を代表いたしました。今定例会に付議されております議案等について代表質問をさせていただきます。

次に、リニア中央新幹線の整備促進についてお伺いをいたします。

リニア中央新幹線の整備について、建設主体であるJR東海は、昨年十二月に品川・名古屋間の建設に着手いたしました。現在、品川・名古屋間の沿線都県では地元説明会が開催をされるなど、名古屋までの開業に向けた準備は着々と進んでいますが、名古屋以西については、環境影響評価の手續すら着手されていません。しかし、本県にとってリニア中央新幹線は、県経済の活性化に大きく寄与する一大プロジェクトでございますし、奈良市附近駅の早期確定と三重・奈良ルートによる全線同時開業はぜひとも必要であります。昨年十二月に開催されました本県と三重県、両県の経済団体で構成する三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議において、関西広域連合長やリニア中央新幹線全線同時開業推進協議会の共同代表でもある大阪府、関西経済連合会なども出席をしていただき、これを契機に関西において三重・奈良ルートによる全線同時開業の方向に一本化しつつあります。これもひとえに知事の強いリーダーシップのたまものであると確信をしています。今回議会に提出された来年度予算案には、リニア中央新幹線の想定ルート区域内における土地利用状況等の詳細把握などの調査検討を行う事業が計上をされています。この来年度の調査検討事業を活用し、奈良市附近駅の早期確定と三重・奈良ルートによる全線同時開業に向け、本県としてどのように取り組んでいくのか、知事のご所見をお伺いいたします。

◎知事（荒井正吾）（登壇）二十五番荻田議員のご質問にお答え申し上げます。

議員ご指摘のとおり、リニア中央新幹線は、本県にとって極めて重要なプロジェクトでございます。東京―名古屋間につきましては、昨年十月に国土交通大臣の工事实施計画の認可があり、十二月十七日には工事が着手されました。名古屋以西につきましては、三重・奈良ルートによる全線同時開業に向け、これまで以上に取り組んでいく必要があると考えております。

このため、昨年十一月には、膠着状況を打破しようと、国土交通大臣をはじめ、関係の方々、三重・奈良ルートによる全線同時開業を促進するための新たな税制措置について提案を行いました。また、十二月には、東京において三重県や両県経済界とともに建設促進に向けた会議を開催し、井戸関西広域連合長や大阪府、関西経済連合会の代表の方にもご出席をいただきました。関西が三重・奈良ルートによる全線同時開業の方向に一本化するような動きになるなど、今年度は、従来にも増して、積極的な成果が見られたところでございます。

来年度につきましては、二つの調査・検討を実施したいと考えております。

一つ目は、将来、実際にJR東海が具体的なルートを検討する際に、参考資料として使用できるよう、文化財や公的施設などの土地利用状況のデータをあらかじめ奈良県で作成しておこうという調査でございます。

二つ目は、今後、リニア中央新幹線を軸としたまちづくりを県と市町村が一体となって推進していくため、三重・奈良ルート、奈良市附近駅による経済波及効果や地域の発展可能性について検討を行うものでございます。

今後も、奈良市附近駅の早期確定と三重・奈良ルートによる全線同時開業に向け、引き続き国やJR東海などに強く訴えとともに、本県としての具体的な協力体制や受け入れ体制の構築に向け、しっかりと準備を進めてまいりたいと思っております。